

2010年2月20日

市制80周年記念歌に合わせ創作 中高生らダンス披露



「かわさきのねいろ」の創作ダンスを披露する「スーパー舞音」のメンバーたち＝市役所で

川崎市内在住の中高大学生でつくるダンスチーム「スーパー舞音(マインド)」の九人が十九日、川崎市役所を訪れ、市制八十年記念歌の「かわさきのねいろ」に合わせて創作したダンスを阿部孝夫市長らに披露。ダンスを収録したCDとDVD二百一十セットを市に寄贈した。市内の学校に配布され、体育の授業の教材として用いられる。

「スーパー舞音」は、市内のダンス普及団体「アレアファールかわさき」に加盟する二つのダンスチームで構成。即席チームながら、約一カ月で振り付けを完成させた。メンバーで跡見学園女子大一年の山崎莉

CDやDVD、市に寄贈

奈さん(右)は「誰でも覚えやすいように、同じ動きの繰り返しが多いです」と語った。

「アレアファールかわさき」では、市民の歌「好きです かわさき 愛の街」や川崎区出身の歌手故坂本九さんの「明日があるさ」などのダンスも創作し、市内のイベントなどで披露している。「かわさきのねいろ」は、二〇一二年度から中学校の保健体育でダンスが必修化されるのに合わせて創作した。阿部市長は「市内の小中学生の体力が全国平均を下回っているのので、ダンスで楽しく体力をつけてもらいたい」と語った。

(堀祐太郎)

【神奈川】

川崎市制80周年記念歌に合わせ創作 中高生らダンス披露

2010年2月20日

川崎市内在住の中高大学生でつくるダンスチーム「スーパー舞音(マインド)」の九人が十九日、川崎市役所を訪れ、市制八十周年記念歌の「かわさきのねいろ」に合わせて創作したダンスを阿部孝夫市長らに披露。ダンスを収録したCDとDVD二百二十セットを市に寄贈した。市内の学校に配布され、体育の授業の教材として用いられる。



「かわさきのねいろ」の創作ダンスを披露する「スーパー舞音」のメンバーたち=市役所で

「スーパー舞音」は、市内のダンス普及団体「アレアファーレかわさき」に加盟する二つのダンスチームで構成。即席チームながら、約一カ月で振り付けを完成させた。メンバーで跡見学園女子大一年の山崎莉奈さん(19)は「誰でも覚えやすいように、同じ動きの繰り返しが多いです」と語った。

「アレアファーレかわさき」では、市民の歌「好きです かわさき 愛の街」や川崎市出身の歌手故坂本九さんの「明日があるさ」などのダンスも創作し、市内のイベントなどで披露している。「かわさきのねいろ」は、二〇一二年度から中学校の保健体育でダンスが必修化されるのに合わせて創作した。阿部市長は「市内の小中学生の体力が全国平均を下回っているので、ダンスで楽しく体力をつけてもらいたい」と語った。

(堀祐太郎)